

# 音や様子ようをあらわす言葉ば

言葉



かわいい子ね。ニャーニャー鳴っているよ。



さっきまで、すやすやねむっていたのにね。



上の言葉の「ニャーニャー」は、子ねこの鳴き声を言葉にあらわしたものです。音をあらわす言葉は、ふつう、かたかなで書かれます。

また、「すやすや」は、様子を言葉にあらわしたものです。様子をあらわす言葉の多くは、ひらがなで書かれます。



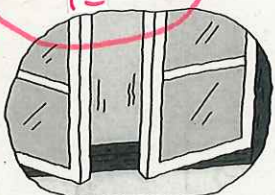
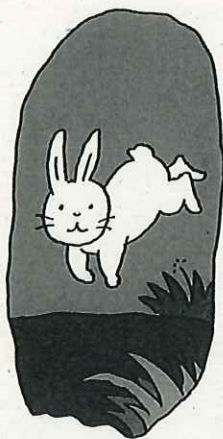
5

■ つぎの二つの文には、どんなちがいがあるか考えましょう。

- まどがカタカタ鳴る。
- まどがガタガタ鳴る。

「ガ」つくことによって、強弱、軽・重に違いがあることがある。

- うさぎがぴよんとはねた。
- うさぎがぴよんぴよんはねた。



5

■ つぎの（ ）の中に、音や様子をあらわす言葉をあてはめてみましょう。

みましよう。

- たかしさんは、ドタドタのっし、のっし。
- ( ) 歩き回った。



5

- しずくが（ ）おちた。
- せんべいを（ ）食べた。

■ つぎの音や様子をあらわす言葉をつかって、文を作りましょう。

- カチカチ
- カチカチ
- ゴロゴロ
- かちかち
- ごろごろ

10

時計がカチカチ音をたてる。

かみなりがゴロゴロなる。

からから

ごろごろ

水たまりがかちかちにこおる。ごろごろねころぶ。

# 同じ読み方の漢字

言葉

漢字には、読み方は同じでも、いみやつかい方がちがうものがあります。

■ つぎの文の□の中に、□の読み方をする漢字をあてはめて、文を作りましょう。

(同じ漢字は、二回つかえません。)

ここう

- ぼくの学□の近くには、□園と□番と□場があります。

校

公 交

5

ちよう

- わたしは、□時間、白□を見ていました。

長

鳥

■ 同じ読み方の漢字をできるだけたくさんつかって文を作りましょう。作ったら友だちと読み合いましょう。

5

れい

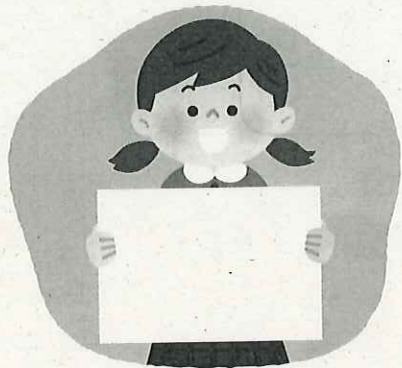
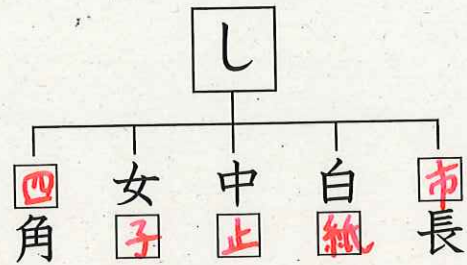
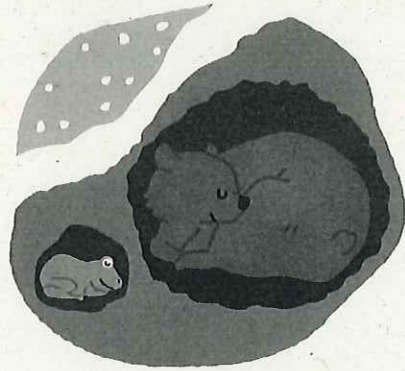
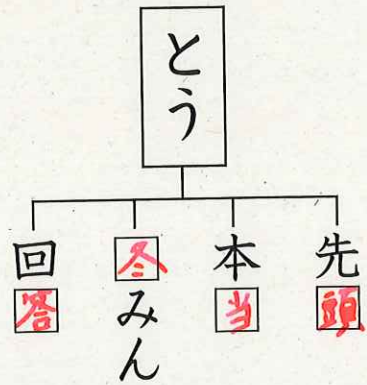
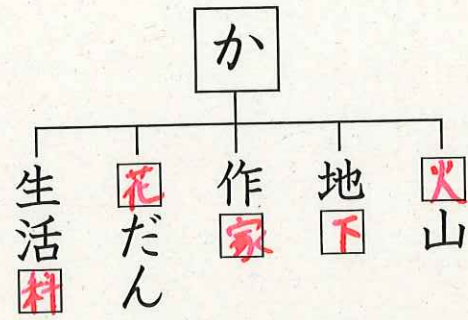
- 「かい」と読む漢字 (「回」など) (回、会、海、貝などを使う)
- 「せい」と読む漢字 (「青」など) (晴天の夜、南西のほうに金剛が見えた。(青、生、正、声、晴、星、西などを使う))

お父さんの会社の近くの海や公園へ二回行った。

晴天の夜、南西のほうに金剛が見えた。

(青、生、正、声、晴、星、西などを使う)

■ □の中に、それぞれ上の□にある読み方をする漢字をあてはめて、言葉を作りましょう。

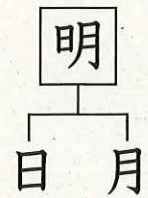


漢字 146ページを見よう

番 番 番 番 番 番 番 番 番 番

# 組み合わせでできている漢字

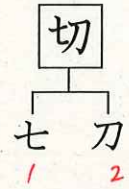
言葉



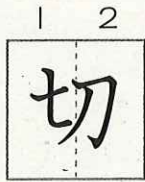
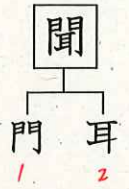
「明」という漢字は、「日」と「月」に分けられます。

■ つぎの漢字の分け方をたしかめましょう。

- ① 左と右
- ② 上と下



- ③ 外と内
- ④ そのほか

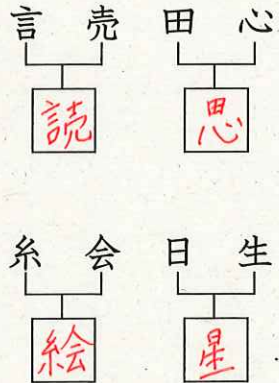


書くときのじゅんば  
んにも気をつけよう。



漢字  
146ページを見よう  
刀 刀  
かたな

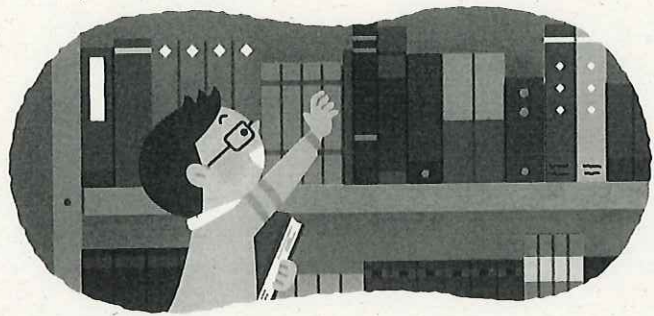
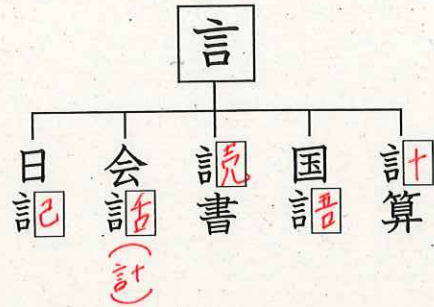
■ つぎの漢字は、組み合わせるとどのような漢字になりますか。下の□の中からえらびましょう。



漢字の中には、同じ部分をもつものがあります。

■ □に漢字の部分をあてはめて、「言」のつく漢字を作りましょう。

(同じ部分が入ってもかまいません。)

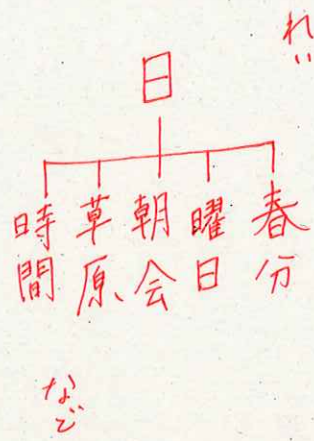


■ つぎの漢字の部分をつかって、上と同じようなもんだいを作りましょう。

**れい** 問春昼朝明時晴星早草など

- 「日」のつく漢字 [曜……]
- 「土」のつく漢字 [社……]
- 「田」のつく漢字 [男……]

もんだいを作るときには、「漢字を学ぶう」(143ページ)をつかおう。



社。社  
社社社社社社社

アレクサンダとぜんまいねずみ  
★あらすじをまとめよう。

●ここが大事

あらすじをまとめる

登場人物がしたことや、できごとを中心に、  
お話をみじかくまとめたものを、**あらすじ**とい  
います。

あらすじのまとめ方は、何をたえたいかに  
よってかわります。

見本①



このお話では、とかげのまほ  
うで、ふしぎなことがおこります。  
どのようなお話か、しよいかい  
します。

アレクサンダは、ぜんまいねず  
みのウイリーと出会います。ぜん  
まいねずみになりたくなったアレ  
クサンダは、とかげに教えられて、  
ねがいかなえるむらさきの小石  
をさがしつづけます。そして、つ  
いに小石を見つけました。けれど、  
アレクサンダは、ウイリーをふつ  
うのねずみにするように、とかげ  
にたのんだのです。

とかげがまばたきをすると、目  
もくらむような光が出て、しいん  
とすましかえりました。

アレクサンダが家へ帰ると、ふ  
つうのねずみになったウイリーが  
いました。二ひきは、夜明けまで  
おどりつづけます。

ぼくは、本当に、とかげのまほ  
うはすごいなと思いました。

ふしぎなことがおこった内よ  
うになっている。

見本②



『アレクサンダとぜんまいねずみ』は、アレ  
クサンダとウイリーが、ど  
んどんなかよくなって  
いくお話です。

どのようなお話か、しよいかいします。

どんどんよがよくなっていく様子  
をまとめていく。

一年間をふりかえって  
作文見本

おわり

④もった  
こあげをし  
たい

かんじたこと  
考えたこと

見たこと  
したこと  
聞いたこと

し	の	あ	あ	お	と	い	と	て	走	ま	ち
ろ	ま	が	が	り	教	風	さ	思	な	し	や
さ	た	こ	り	に	え	と	ん	つ	ん	ま	た
を	作	と	が	ま	し	て	ぎ	が	て	い	け
見	つ	て	ぐ	し	て	く	や	い	か	ま	れ
つ	て	も	ん	た	た	み	れ	く	た	な	し
け	お	ぐ	。	。	た	ま	に	ら	。	た	。
た	も	も	ん	校	ら	し	走	。	す	い	か
い	っ	し	高	し	。	た	る	近	。	ぐ	た
で	と	ろ	く	や	今	。	と	く	。	に	し
す	も	か	な	よ	度	言	い	に	。	地	ゆ
。	っ	っ	っ	り	は	わ	い	い	。	面	ん
	と	た	て	も	う	れ	よ	た	。	に	か
	お	で	い	高	ま	た	。	か	。	つ	ん
	も	す	く	く	く	と	。	わ	。	い	に

中

③たこあげ  
本番

②たこが  
んせいした

はじめ

①たこを  
作ったこと

かんじたこと  
聞いたこと  
かんじたこと  
したこと

	り	と	。	。	ん	ま	そ	。	ち	も	し	。	。
た	ま	言	ら	犬	に	し	こ	た	よ	は	た	わ	。
こ	し	わ	れ	の	見	た	に	こ	う	じ	。	た	。
あ	た	れ	る	絵	せ	。	。	は	し	め	た	し	。
げ	。	。	と	が	た	家	か	。	ま	て	こ	は	。
本	あ	い	か	ら	に	つ	青	し	だ	は	。	。	。
番	げ	い	わ	。	帰	て	く	た	。	た	作	校	か
の	る	ね	い	。	っ	い	て	。	の	る	で	み	た
日	の	。	い	。	て	る	。	。	。	の	た	や	こ
。	が	ね	。	か	犬	四	角	。	。	。	。	。	。
わ	楽	。	。	ら	の	角	い	。	少	あ	を	ひ	げ
た	し	高	。	お	絵	を	形	。	し	げ	作	と	。
し	み	く	。	姉	を	か	で	。	き	る	り	み	。
は	に	あ	。	ち	か	き	す	。	ん	の	。	。	。
。	な	げ	。	や	。	。	。	。	。	。	。	。	。



カードには書いてい  
なかつたことも書こう。



題名には、はじめて  
のたこあげに、一生け  
んめいと組んだ気持ち  
をあらわそうかな。

お姉ちゃん  
(姉さん)